

■目標

- 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。（知識及び技能）
 - ・身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜情報社会の問題解決＞	・身近にある情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法に着目して解決に向けて活動する学習 【具体的な内容】 ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組み、課題の発見、課題解決の方法、情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラル、身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響、目的や状況に応じた身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用、望ましい情報社会の在り方
＜コミュニケーションと情報デザイン＞	・身近なメディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える学習 【具体的な内容】 ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴とその変遷、身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割、情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能、身近なメディアとコミュニケーション手段の関係、目的や状況に応じた適切な選択、目的に合わせた適切かつ効果的な情報デザイン、表現、振り返り、表現の見直し
＜情報通信ネットワークとデータの活用＞	・情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目して、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し、問題を知り、問題の解決に向けて活動する学習 【具体的な内容】 ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法、身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための基本的な表し方、データを収集、整理、分析する基本的な方法、情報システムが提供するサービスの効果的な活用、データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択、実行、振り返り、表現の見直し

■評価の方法

＜知識及び技能＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜思考力、判断力、表現力＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜学びに向かう力、人間性＞

- ・授業中の発言、様子
- ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

自分の生活や卒業後の仕事に生かせる学習です。社会の実情に対応できるように情報モラルについても学びます。現代の生活では欠かすことができない情報機器、皆さんは安全に使えていますか。情報機器の便利さとそれに伴う責任や危険性について理解を深めましょう。